

株式会社 バッファロー

# Business Report

2025.4.1 — 2025.9.30



**BUFFALO**<sup>TM</sup>  
Value Chain Engineering

Yota



## 持続的な成長と 企業価値の最大化、 そしてステークホルダーの 皆様への分配

株式会社バッファロー  
代表取締役 社長執行役員CEO

牧 寛之

### IT関連事業の収益が改善

当中間期におけるわが国経済は、緩やかな回復基調がみられるものの、物価上昇継続による個人消費の鈍化、米国の関税政策の動向など先行き不透明な状況が続いております。

パソコン周辺機器業界は、法人向け市場では企業の設備投資に増加傾向がみられた一方で、個人向け市場においては、物価高による消費余力の低迷などにより需要の縮小が継続しております。

こうした環境下で当中間連結会計期間の業績は、売上高601億2百万円(前年同期比18.7%減)、営業利益55億48百万円(同84.4%増)、経常利益56億43百万円(同76.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益46億16百万円(同137.6%増)となりました。

なお、上記の前年同期比における前期業績には、2024年10月1日付で連結子会社から除外したシマダヤ株式会社他4社(食品事業)の業績も含みます。

### 原価低減や積極的な拡販を促進

主力とするパソコン周辺機器分野は、前期の値上げ効果の浸透や、想定為替より円高の水準に留まること、一部商品の原価低減活動の進捗により、収益が改善いたしました。法人向け市場では企業DX支援の一環でネットワーク機器やNASの拡販により法人案件の獲得増を図り、個人向け市場ではシェア維持により収益の拡大に努めました。さらに経済産業省主導のセキュリティ要件適合評価及びラベリング制度「JC-STAR」にバッファロー商品をいち早く対応させ、安心してご利用いただける商品開発を実施しています。関連サービス分野では、施設内ネットワーク施工の案件獲得に努めました。

また、卸売品分野はCPUの販売拡大などにより堅調に推移し、その他分野である「Airdog」シリーズ\*はサーキュレーター扇風機との特別セットキャンペーン「春のFanまつり」により、販売台数の拡大を図りました。

\*「Airdog」シリーズは2025年8月29日を以て国内の独占販売契約を終了。

## 事業領域をIT関連に集中、 さらに経営体質を強化

当社は2025年4月1日付で完全子会社である株式会社バッファローを吸収合併し、株式会社バッファローに商号変更、純粋持株会社から事業会社へ移行いたしました。また2025年5月1日付で、創業50周年を迎えております。

これに合わせ、創業の精神を基礎として、経営コンセプトを純粋持株会社体制となる前の「Original Value Creation（オリジナルな「価値」の創造）」に戻しました。当社は事業領域をIT関連に集中させ、オリジナルな「価値」の創造（＝付加価値の創出）により持続的に成長し、ステークホルダーの皆様への分配に取り組んでおります。

さらに、執行役員制度の導入、部局組織の構築、譲渡制限付株式報酬制度の導入を行うなど、経営体質の強化に努めてまいります。

### 経営コンセプト

## Original Value Creation

（オリジナルな「価値」の創造）

### 行動指針

#### Fair and Open

公正さとオープンな態度

#### Logical Thinking

論理的な考え方

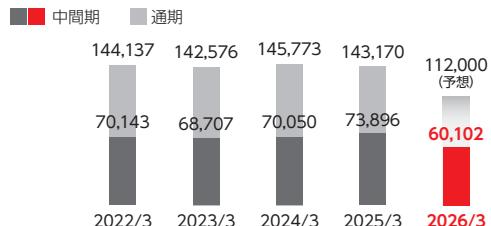
#### Simple and Speedy

シンプルそして迅速に実行

#### Leading Edge

最先端そして最前線にゆく

連結売上高（単位：百万円）



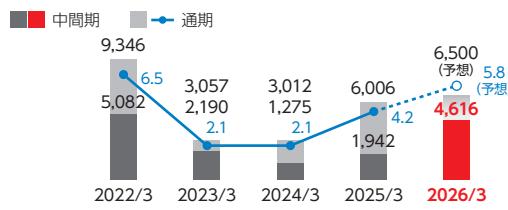
連結経常利益（単位：百万円）

連結売上高経常利益率（単位：%）

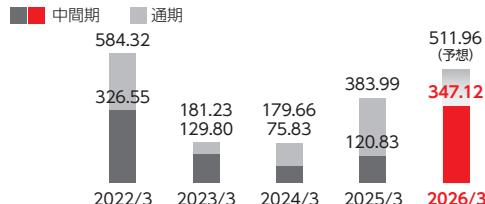


親会社株主に帰属する当期純利益（単位：百万円）

連結売上高当期純利益率（単位：%）



1株当たり当期純利益（単位：円）



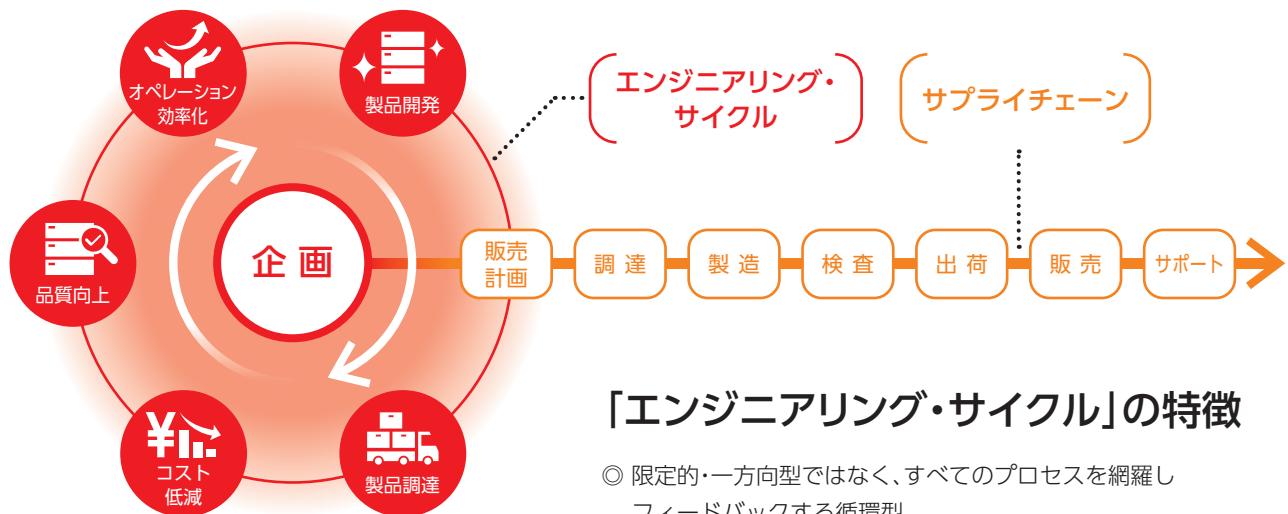
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

ドメイン コーポレートスローガン

# Value Chain Engineering

バリューチェーン・エンジニアリング

当社の強みは「エンジニアリング・サイクル」であり、これまでITハードウェアに関わるエンジニアリング活動を継続深化させてきました。今や情報技術は有形の製品にとどまらず、サービスやソリューションといった無形の価値も求められています。我々はこのニーズに応えるべく、エンジニアリング活動を通じ、付加価値創出を加速してまいります。



## 「エンジニアリング・サイクル」の特徴

- ◎ 限定的・一方向型ではなく、すべてのプロセスを網羅し  
フィードバックする循環型
- ◎ エンジニアリング・サイクル自体をシステムとして提供

## 商品分野

当社はご家庭向け・法人向けの商品を展開し、Wi-Fiルーター・VPNルーター、有線LANスイッチなどのネットワーク機器、パソコン・テレビ録画用外付けHDDや遠隔監視・操作が可能な法人向けNASなどのストレージ機器、その他マウスやキーボード、Webカメラといったパソコン周辺機器を開発・製造・販売しております。また、公共施設や病院、オフィス向けのネットワーク設置施工サービスや、HDDやサーバー等から読み出せなくなったデータの復旧サービスなど、メーカーならではの高い技術力を強みに、周辺サービスも提供しております。

このほか、CPUやマザーボード、グラフィックボードなど卸売品も取り扱っております。

### ネットワーク機器

主な商品 ► Wi-Fi、ルーター、ハブ、LANアダプター



Wi-Fi



VPNルーター



スイッチ

### メモリ・ストレージ機器

主な商品 ► HDD、NAS、SSD、DVDドライブ、USBメモリー、メモリー、メディア



HDD



NAS



DELA

### その他周辺機器

主な商品 ► マウス、キーボード、Webカメラ、ケーブル



マウス



キーボード



Webカメラ

### 関連サービス

主な商品 ► データ復旧サービス、ネットワーク施工



データ復旧サービス



ネットワーク施工

### 卸売品

主な商品 ► CPU、グラフィックボード、その他パーツ



CPU



マザーボード



グラフィックボード

### その他

主な商品 ► Airdog



Airdog

※2025年8月29日を以て、国内の独占販売契約を終了。

—TOPIC 1—

## 株式会社ビットキーと 資本業務提携契約を締結

当社と株式会社ビットキー(以下、「ビットキー」という。)は2025年8月8日付で資本業務提携いたしました。ビットキーは、「つなげよう。人は、もっと自由になる。」をミッション・ビジョンとして、コネクトプラットフォーム「homehub」や「workhub」を展開しています。スマートロックなどのハードウェアとスマートフォンアプリなどのソフトウェアを連携することで、物理的な空間(リアル)とデジタルをシームレスに接続し、人々の行動における制約の解消に取り組む企業です。本提携により、バッファロー及びビットキーが持つケイパビリティを融合することで相乗効果を生み出し、中長期的な企業価値の向上を目指します。まずはスマートロック等の普及に不可欠な導入支援(設置施工・保守業務)から連携を開始し、安定的に高品質なサービス基盤を構築します。

近年、スマートロックは住宅、オフィスビル、空港内施設、庁舎など、幅広い場所で利用が拡大しており、24時間365日安定稼働が求められる社会インフラとしての重要性が増しています。さらなる成長が見込めるビットキーに対し、当社グループが持つバリューチェーン、特にものづくりにおける品質管理能力や、子会社バッファロー・IT・ソリューションズが持つ全国のサービス網を提供することで、両社の事業拡大と企業価値向上が図れると判断いたしました。

将来的には、当社のものづくりにおける知見を活かした品質保証領域での協力や、両社の技術を組み合わせた新たな商品・サービスの共同開発なども視野に入れ、協業範囲の拡大について継続的に協議してまいります。

—TOPIC 2—

## バッファロー商品が経済産業省主導の セキュリティ要件適合評価及びラベリング制度 「JC-STAR」に対応

経済産業省の主導のもと独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が運用するセキュリティ要件適合評価及びラベリング制度「JC-STAR」に、当社の製造・販売する法人向け商品やご家庭向けWi-Fi商品などが対応いたしました。

\*対応情報は随時更新しております。最新情報は当社ホームページをご確認ください。



左：当社代表取締役  
牧 寛之  
右：ビットキー 代表取締役社長  
竇 槻 昌則氏



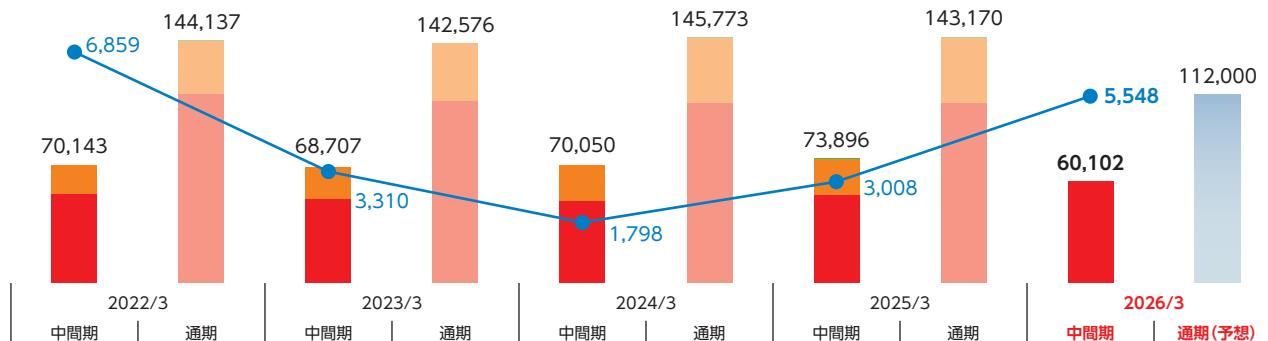
「JC-STAR」とは

「JC-STAR」は、「ETSI EN 303 645」や「NISTIR 8425」等の国内外の規格とも調和しつつ、独自に定める適合基準(セキュリティ技術要件)に基づき、IoT製品に対する適合基準への適合性を確認・可視化する日本の適合性評価制度です。

## 事業概況 — BUSINESS OVERVIEW —

連結売上高 (単位:百万円)

■ IT関連 ■ 食品 ■ その他



(注)1. 食品事業では、2024年10月1日付の株式分配型スピンオフによりシマダヤ株式会社他4社を当社の連結範囲から除外しております。食品事業に係る売上高、セグメント利益については連結除外日までの実績を含めております。

(注)2. 報告セグメントのうち「金融事業」は、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の全社管理機能を含んでおります。2022年3月期は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

商品分野別売上高 (単位:百万円)



▶ ネットワーク機器	20.1%
▶ メモリ・ストレージ機器	30.4%
▶ その他周辺機器	4.4%
▶ 関連サービス	2.7%
▶ 卸売品	26.2%
▶ その他	16.2%



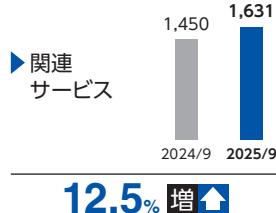
13.7% 増↑



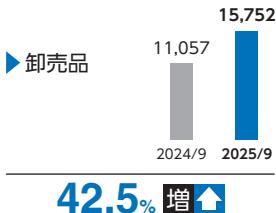
1.7% 増↑



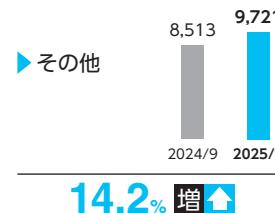
9.0% 増↑



12.5% 増↑



42.5% 増↑



14.2% 增↑

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 中 間 期	前 期
	2025年 9月30日現在	2025年 3月31日現在
<b>①【資産の部】</b>		
流動資産	63,750	69,043
固定資産	7,175	7,743
有形固定資産	723	786
無形固定資産	2,383	2,846
投資その他の資産	4,068	4,109
<b>資産合計</b>	<b>70,925</b>	<b>76,786</b>
<b>②【負債の部】</b>		
流動負債	27,823	30,795
固定負債	1,486	953
<b>負債合計</b>	<b>29,309</b>	<b>31,749</b>
<b>③【純資産の部】</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	250	250
利益剰余金	41,916	43,567
自己株式	△2,395	△327
<b>株主資本合計</b>	<b>40,771</b>	<b>44,489</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	526	357
繰延ヘッジ損益	61	△55
為替換算調整勘定	4	△24
退職給付に係る調整累計額	251	270
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>844</b>	<b>547</b>
<b>純資産合計</b>	<b>41,615</b>	<b>45,037</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>70,925</b>	<b>76,786</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## — POINT —

### ① 資産の部

総資産は709億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ58億60百万円減少しました。流動資産は637億50百万円となり、52億93百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少50億96百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少22億13百万円、商品及び製品の増加12億97百万円、その他流動資産の増加7億27百万円によるものです。固定資産は71億75百万円となり、5億67百万円減少しました。これは主に、無形固定資産の減少4億62百万円、有形固定資産の減少63百万円によるものです。

### ② 負債の部

負債合計は293億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億39百万円減少しました。流動負債は278億23百万円となり、29億72百万円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少16億97百万円、未払金の減少12億5百万円によるものです。固定負債は14億86百万円となり、5億32百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加12億50百万円、役員退職慰労引当金の減少6億9百万円、その他固定負債の減少1億18百万円によるものです。

### ③ 純資産の部

純資産合計は416億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億21百万円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の獲得46億16百万円、配当金の支払9億12百万円、自己株式の取得74億77百万円、その他の包括利益累計額の増加2億97百万円によるものです。

なお、自己株式の消却により、利益剰余金が53億28百万円、自己株式が53億28百万円、及び譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により、自己株式が81百万円それぞれ減少しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日	前中間期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日
売上高	60,102	73,896
売上原価	42,393	54,885
販売費及び一般管理費	12,159	16,001
<b>営業利益</b>	<b>5,548</b>	<b>3,008</b>
営業外収益	156	246
営業外費用	62	51
<b>経常利益</b>	<b>5,643</b>	<b>3,203</b>
特別利益	212	16
特別損失	52	63
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>5,803</b>	<b>3,156</b>
法人税、住民税及び事業税	939	1,432
法人税等調整額	247	△218
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,616	1,942

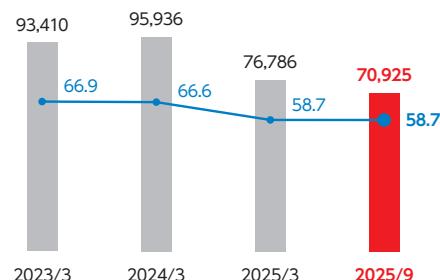
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 9月30日	前中間期 自 2024年 4月 1日 至 2024年 9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	1,987	△323
投資活動による キャッシュ・フロー	△185	△883
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,925	△6,247
現金及び現金同等物に 係る換算差額	26	△35
<b>現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)</b>	<b>△5,096</b>	<b>△7,490</b>
現金及び現金同等物の 期首残高	31,609	29,958
<b>現金及び現金同等物の 中間期末残高</b>	<b>26,512</b>	<b>22,468</b>

総資産 (単位:百万円)

自己資本比率 (単位: %)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

詳細情報は

バッファロー IR

検索

<https://www.buffalo.jp/ir/>

2025年9月30日現在

## 株式会社バッファロー

商号	株式会社バッファロー (英文社名)BUFFALO INC.
資本金	10億円
事業内容	デジタル家電及びパソコン周辺機器の開発・製造・販売及びデータ復旧サービス
従業員数	629名、 グループ連結991名
グループ企業	会社数14社 (国内11社、海外3社)

### 取締役

代表取締役	牧 寛之	取締役(常勤監査等委員)	長瀬 吉昌
取締役	中山 千里	取締役(常勤監査等委員)	神谷 純
取締役	津坂 巍	取締役(監査等委員)	宮嶋 宏幸
		取締役(監査等委員)	大塚 久美子

### 執行役員

社長執行役員CEO	牧 寛之	常務執行役員	西脇 孝志	執行役員	松崎 真也
副社長執行役員COO	渡邊 泰治	常務執行役員	岩崎 克己	執行役員	佐藤 教人
専務執行役員	和田 学	執行役員	田村 信弘	執行役員	日當 貴志
常務執行役員	矢野 学	執行役員	高見 康朗	執行役員	三谷 弘次
常務執行役員	横井 一紀	執行役員	富山 強	執行役員	長尾 浩志
常務執行役員	石丸 正弥	執行役員	大屋 誠		

## — 国 内 —

### シー・エフ・デー販売株式会社

パソコンパーツ及び周辺機器の開発・製造・販売

### 株式会社バイオス

ストレージ関連製品の開発・製造・販売

### 株式会社バッファロー・IT・ソリューションズ

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売、インフラの構築・保守

### アドバンスデザイン株式会社

データ復旧/消去/変換サービス及びデータ消去製品の製造・販売

## — 海 外 —

### 米 国 BUFFALO AMERICAS, INC.

ネットワーク関連機器及びパソコン周辺機器の販売

### 株式会社デジオン

ネットワーク・ストレージソフトウェアの開発及び販売

### 株式会社DELA

音響機器及び関連製品の開発・販売

### 株式会社トウコネクト

ダイレクトマーケティング事業

### 台 湾 巴比祿股份有限公司

部材の調達・管理

# 株式情報 — STOCK INFORMATION —

2025年9月30日現在

## 株式の状況

発行済株式の総数	12,800,000株 (自己株式706,388株含む)
株主数	9,086名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
株式会社メルコグループ	3,620	29.93(28.28)
牧 寛之	2,104	17.40(16.44)
ECM MF	1,112	9.20 (8.69)
公益財団法人牧誠財団	500	4.13 (3.90)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	417	3.44 (3.25)
大和証券株式会社	142	1.17 (1.11)
バッファロー共栄会	130	1.08 (1.02)
岩崎 泰次	127	1.05 (0.99)
JP MORGAN CHASE BANK 385781	80	0.66 (0.63)
牧 廣美	79	0.65 (0.61)

(注) 1. 持株数は千株未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は自己株式を控除した発行済株式の総数を基準にして計算し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、( ) 内の持株比率は自己株式を含めた発行済株式の総数を基準にして計算しております。

## 所有者別分布状況



- 金融機関 —— 484千株 (3.78%)
- 金融商品取引業者 — 358千株 (2.80%)
- その他国内法人 — 4,220千株 (32.96%)
- 外国法人等 — 2,214千株 (17.29%)
- 個人・その他 — 4,816千株 (37.62%)
- 自己名義株式 — 706千株 (5.51%)

(注) 1. 持株数は、千株未満の端数を切り捨てて表示しております。  
2. 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 株主メモ

決 算 期 日	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
株主確定基準日	議決権行使株主 3月31日 期末配当金受領株主 3月31日 中間配当金受領株主 9月30日
上場証券取引所	東証スタンダード市場・名証プレミア市場
証 券 コ ー ド	6676
銘 柄 名 称	株式会社BUFFALO(略称: BUFFALO)
1単元の株式数	100株
公 告 の 方 法	電子公告 <a href="https://www.buffalo.jp/koukoku/">https://www.buffalo.jp/koukoku/</a>
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ◎電話照会先 TEL.0120-782-031(フリーダイヤル) 平日9:00~17:00
幹 事 証 券 会 社	(主)大和証券 (副)野村證券、みずほ証券、SMBC日興証券

## — 株主優待制度の新設のご案内 —

株主の皆様の日頃からのご支援・ご愛顧に感謝し、株主優待制度を新設いたしました。ぜひ当社商品をご購入いただき、当社商品および事業へのご理解を深めていただければ幸いです。

### 対象となる株主様

初回基準日を2025年9月末日として、以降は毎年3月末日および9月末日を基準日とする当社株主名簿に記載または記録された、当社株式を1単元(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。

### 株主優待の内容

対象株主様に対して、基準日毎に次のとおりデジタルギフトを進呈いたします(2026年3月末日以降の基準日からは、保有期間による区分はございません)。

基準日	保有 株式数	継続 保有期間	株主優待の内容	
			毎年3月末	毎年9月末
2025年 8月8日公表 (2025年9月末日)	100株 (1単元) 以上	3年未満	3,000円 相当の デジタルギフト	3,000円 相当の デジタルギフト
		3年以上	5,000円 相当の デジタルギフト	5,000円 相当の デジタルギフト
2025年 11月12日公表 (2026年3月末日)		保有期間 による 区分なし	5,000円 相当の デジタルギフト	5,000円 相当の デジタルギフト

※継続保有期間3年以上とは、毎年基準日である3月末日および9月末日の株主名簿に、同一の株主番号で、7回以上連続して記載又は記録されていることをいいます。

※2025年9月末日を基準日とする場合、3年以上の継続保有期間には2022年9月末日の名簿を1回目として同一の株主番号で連続7回記載されることが必要となります。

※デジタルギフトの対象となる交換先は次の予定です。なお、交換先につきましては、今後変更の可能性がございます。

PayPayマネーライト／dポイント／au PAY ギフトカード／楽天ポイントギフト／EdyギフトID／Apple Gift Card／Google Play ギフトコード

### 交換先の選択方法

対象株主様宛に「株主優待のご案内」を「中間決算関係書類」または「定時株主総会招集ご通知」に同封して発送いたします。「株主優待のご案内」に沿ってWeb上でご希望の交換先を選択していただき、交換手続きをお願いいたします。

なお、選択期間を過ぎた場合は交換手続きが出来なくなるため、選択期間内の交換手続き完了をお願いいたします。

### 進呈時期

3月末日、9月末日を基準日として、権利確定日から3か月以内を目処に、株主名簿に記載された住所宛てに発送を予定しております。

株式会社 バッファロー (証券コード6676)

<https://www.buffalo.jp>

東京  
本社 〒100-6215  
東京都千代田区丸の内一丁目11番1号  
パシフィックセンチュリープレイス丸の内  
TEL.03-4213-1122(代) FAX.03-4213-1123

名古屋  
本社 〒460-8315  
愛知県名古屋市中区大須三丁目30番20号 赤門通ビル  
TEL.052-249-6610(代) FAX.052-249-6609



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。